

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	豊川市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 野地 子ども会
事業名			
活動名	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)		
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	(目的) コロナ禍で地域の子ども同士の交流が少ない中、お互い顔を見て紹介し知り合うとともにゲームや工作を通じて異年齢の交流や新たな発想を育む。 (内容) ホールで円座になりフルーツバスケット、自己紹介、座ったまましりとりで時限爆弾ゲーム、低学年・高学年2チームずつに分かれてひっくり返しゲームを行う。和室の机で牛乳パックを使った変身絵カードを一人1つ制作する。最後に6年生からお土産のお菓子を名前を呼んでもらい、取りに来てもらい配った。		
日時	令和4年 4月29日(金) 時間 9時30分~ 11時	場所	小坂井集会所
予算	6,150円	参加人数	子ども 20名 大人 4名 スタッフ役員 3名
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	(良かったこと) 円座になり一人ずつお互いの顔を見て紹介出来たので覚えてもらえたと思う。ゲームの準備をお願いすると快くやってくれる子どもが多かった。事前の声掛けで1年生の親御さんも一緒に参加してくれたので入学後間もない1年生も安心して参加してもらえた。ゲームではあまり乗り気でなかった子ども、次の工作では楽しそうに作ってくれていて、最後は笑顔が見られて良かった。 (困った点) フルーツバスケットで1年生が残ったとき困って悲しくなってしまう、その後ゲームに参加できなかったが、工作では集中して取り組んでくれて遊びを切り替えることで気持ちの立て直しができた。しりとり時限爆弾ゲームでは、自分の番がくるまで、退屈する子がみられた。		
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	早めに来てくれた5、6年生に受付や会場作りを手伝ってもらい助かった。自分たちで分担してやってくれた。牛乳パック工作では、牛乳パックに2場面の変身を絵に描くお題をそれぞれの発想で大体の子は短時間で仕上げる事ができた。おしゃべりは少なめに黙々と集中して取り組めた。		
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (☑点の記載必須)	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (☑点の記載必須)
			